資料４

厚生労働省 ひと、くらし、みらいのために Ministry of Health, Labour and Welfare

令和４年３月４日

電子版お薬手帳に関する検討状況について

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

電子版お薬手帳の適切な推進に向けた調査検討会

目的

- 「お薬手帳（電子版）の運用上の留意事項について」（平成27年11月27日薬生総発1127第４号）（以下、「留意事項」）から5年以上が経過しているが、薬局における導入率は約半数にとどまっている。
- また、国民の健康づくりに向けたPHRの推進が掲げられるとともに、今後電子処方箋やマイナポータルを通じた医療情報の確認等の仕組みも構築されるなど、電子版お薬手帳を取り巻く環境は大きく変化している。
- このような状況から、電子版お薬手帳についてより一層適切な推進を図ることを目的として、電子版お薬手帳の現状等に関する調査・分析等を実施し、電子版お薬手帳の機能のあり方及び電子版お薬手帳の標準フォーマットの改善等を検討する。

検討項目

①電子版お薬手帳の現状等に関する調査・分析
②電子版お薬手帳の機能のあり方
③電子版お薬手帳の標準フォーマットの改善等の方向性

検討実績

○令和２年度
・電子版お薬手帳の現状等に関する調査・分析

○令和３年度
・10月25日　留意事項の一部改正
・電子版お薬手帳サービス事業者へのヒアリング
・電子版お薬手帳のあり方の検討

構成員一覧

池田　和之	一般社団法人日本病院薬剤師会 奈良県立医科大学付属病院　薬剤部長
澤　智博	帝京大学医療情報システム研究センター教授
高田　敦史	九州大学病院　メディカルインフォメーションセンター 薬剤師・上級医療情報技師
竹中　裕三	一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会
田中　賢一	一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
○土屋　文人	一般社団法人医薬品安全使用調査研究機構 設立準備室長
長島　公之	公益社団法人日本医師会　常任理事
原口　亨	公益社団法人日本薬剤師会　理事
増子　治樹	一般社団法人日本保険薬局協会　理事
山本　隆一	医療情報システム開発センター　理事長

◎座長　（五十音順・敬称略）

電子版お薬手帳の適切な推進に向けた調査結果（概要①）

目　　的：現在普及している電子版お薬手帳の仕様（項目、閲覧方法、機能等）や今後追加を検討している項目等の把握
対　　象：日本薬剤師会の電子お薬手帳相互閲覧サービスに対応している電子版お薬手帳サービスの運営事業者
（31団体 [39サービス] ：令和3年1月末時点）。
回収結果：有効回収件数20件（回収率64.5%）（有効サービス件数21件）

■電子版お薬手帳サービスの導入状況

- ✓ 導入薬局件数は約2万件（N=9）に上るものの、医療機関での導入は約160件（N=6）
- ✓ 調剤情報の登録者数のうち、過半数が40歳代未満であり、高齢者の割合は低い傾向

■電子版お薬手帳サービスの現状（保持できる項目・入力方法・閲覧方法）

- ✓ JAHIS仕様に沿った項目が保持できる一方、特に「入院中の副作用情報」、「退院後に必要な情報」および「要指導医薬品・一般用医薬品」については特に記入率が少ない傾向
- ✓ 入力方法の多くが「手入力」もしくは「薬局・医療機関から発行されたQRコードの読み取り」
- ✓ 保持可能データ項目について、非導入薬局や医療機関での閲覧を想定しているサービスは半数以下

直近３か月以内の調剤情報登録者（*N=7*）

	患者情報			薬品情報		用法情報		患者→医師・薬剤師		医師・薬剤師→患者		要指導医薬品・一般用医薬品	
	A）アレルギー歴	B）副作用歴	C）既往歴	D）薬品補足情報(281)	E）薬品服用の注意事項(291)	F）処方服用注意事項（391）	G）服用注意事項(401)	H）服薬情報（服薬中に気付いたこと）(601)	I）連絡・注意事項（患者→医師・薬剤師）(601)	J）入院中の副作用情報(411)	K）退院後に必要な情報(411)	L）薬品名称	M）服用履歴
平　均	7488.7件	6860.1件	7440.1件	4091.3件	7399.0件	6135.9件	7959.9件	2375.0件	2375.0件	1847.3件	1847.3件	276.1件	36.0件
最小値	16件	19件	65件	12件	65件	5件	100件	4件	4件	0件	0件	5件	0件
最大値	31090件	28751件	26600件	12930件	27052件	28219件	31673件	12930件	12930件	12930件	12930件	1341件	212件
合　計	52421件	48021件	52081件	28639件	51793件	42951件	55719件	16625件	16625件	12931件	12931件	1933件	252件
調剤情報登録者数に占める記入率	9.5%	8.7%	9.4%	5.2%	9.4%	7.8%	10.1%	3.0%	3.0%	2.3%	2.3%	0.4%	0.0%

電子版お薬手帳の適切な推進に向けた調査結果（概要②）

■電子版お薬手帳サービスの現状（機能・活用状況）

- ✓ 「①服薬管理機能」における各機能については概ね実装しているサービスが多いが、「残薬数の表示」や「健康食品の購入記録」「健康食品の使用記録」「併用禁忌や相互作用に関するアラート機能」、ならびに、患者、医師・薬剤師間の連絡機能等を実装しているサービスは10件未満
- ✓ 今後実装を予定・検討している機能としては「②オンライン服薬相談・指導機能」や「③服薬期間中のフォローアップ支援機能」にまつわるものが多い傾向

- ✓ なお、患者の利用ニーズの高い機能上位3位は、１位「処方せん情報の事前送信機能」、2位「薬の情報表示機能」、３位「家族管理機能」

電子版お薬手帳に付加している機能（複数回答）

		実装している機能	今後実装を予定 検討している機能
① 服薬管理機能	0１ 服薬予定を記録する機能	15 件	2 件
	0２ 服薬状況を記録する機能	19 件	2 件
	0３ 服薬タイミングを知らせるアラーム機能	2０件	1件
	0４ 残薬数の表示	9 件	3 件
	0５ 副作用等の症状の記録	11件	2 件
	0６ 要指導医薬品 一般用医薬品の購入記録	18 件	2 件
	0７ 要指導医薬品 一般用医薬品の服薬記録	10 件	2 件
	0８ 健康食品の購入記録	5 件	3 件
	0９ 健康食品の使用記録	3 件	3 件
	10 併用禁忌や相互作用に関するアラート機能	9 件	4 件
	11 患者→医師 薬剤師への連絡 相談機能 チャット機能等	8 件	4 件
	12 医師 薬剤師→患者への連絡機能 チャット機能等）	8 件	3 件
	13 その他	1件	0 件
② オンライン 服薬相談・指導機能	0１ メール チャット機能	5 件	9 件
	0２ ビデオ通話機能	6 件	8 件
	0３ その他	2 件	6 件
③ 服薬期間中のフォローアップ支援機能 フォローアップのリマインド設定等）		7 件	10 件
④ 処方せん情報の事前送信機能		18 件	2 件
⑤ 健康管理 機能	0１ 食事の記録	1件	5 件
	0２ 運動の記録	3 件	5 件
	0３ 喫煙／禁煙の記録	1件	5 件
	0４ バイタル 血圧、血糖値等）の記録	9 件	1件
	0５ 健診 検診結果	6 件	2 件
	0６ 予防接種の記録	4 件	2 件
	0７ その他	1件	1件
⑥ 医師 薬剤師の情報共有機能		14 件	1件
⑦ その他	0１ 薬の情報表示機能	15 件	0 件
	0２ 薬の情報検索機能	14 件	1件
	0３ ＧＳ１コードの読み取り機能	0 件	2 件
	0４ 家族管理機能	2０件	0 件
	0５ その他	4 件	1件

電子版お薬手帳の適切な推進に向けた検討状況

<u>令和３年度の検討状況</u>

- 電子版お薬手帳の在り方について整理するため、以下の視点から検討
  - ✓ 電子版お薬手帳として最低限備えるべき機能・情報
  - ✓ 電子版お薬手帳として備えるのが望ましい付加的な機能・情報

検討内容等

○　現状、電子版お薬手帳には各事業者において様々な機能が提供されている。

➢　既にある機能か新たに実装が必要な機能か否かも整理した上で、最低限備えるべき機能・付加的機能等を検討してはどうか。

➢　既にある機能については、改善や活用方策も検討してはどうか。

<table>
<tr><th rowspan="2">機能</th><th colspan="2">最低限必要な機能</th><th rowspan="2">備えるのが望ましい付加的な機能
（他サービスとの連携を含む）</th></tr>
<tr><th>アプリ内で完結
（紙の手帳と同等）</th><th>他サービスとの
連携を含む</th></tr>
<tr><td>既に実装されている機能</td><td colspan="3">・処方情報等の記録・閲覧機能
・データの書き出し、取り込み機能
・要指導医薬品・一般用医薬品等の記録・閲覧機能
・処方箋の事前送信機能
・服薬管理機能（服薬予定・状況の記録、アラート機能）

<u>【既存機能の改善・活用方策の方向性】</u>
・　閲覧性の改善、操作性の向上
・　データ移行のしやすさの改善
・　記入のしやすさの改善（特に要指導医薬品・一般用医薬品）
・　医療機関における電子版お薬手帳の導入等</td></tr>
<tr><td>今後新たに実装（開発・普及）が必要な機能</td><td colspan="3">・医師・薬剤師と患者間のコミュニケーション機能
・ GS１コードの読み取り機能
・プッシュ型の通知機能（健康管理のための情報や回収情報等）
・健診情報の取り込み等、他のPHRサービスとの連携機能　　等</td></tr>
</table>